

## ハイイロハガタヨトウをハチ北高原で採集

阪上 洸多

ハイイロハガタヨトウ *Meganephria cinerea* (ヤガ科モクメキリガ亜科) は、国内では本州および九州で局地的に分布しており、兵庫県での採集記録は波賀町での1例のみが知られていた(高島, 2001)。今回、ハチ北高原で本種を複数個体採集したので報告する。



写真 ハイイロハガタヨトウ(開帳 41.4mm).

6exs, 兵庫県美方郡香美町岡区大笹ハチ北高原 Alt 800m, 7. XI. 2015, 灯火採集

本種の寄主植物はハルニレとオヒョウが知られている(岸田, 2011)。寄主植物の分布が限定されているため本種の分布も局地的だと考えられる。

末筆ながら本稿を校正していただいた杉浦真治准教授(神戸大学)にお礼申し上げます。

### ○参考文献

岸田泰則(編), 2011. 日本産蛾類標準図鑑 II, 学研  
高島昭, 2001. 兵庫県のセダカモクメ亜科, きべりはむし, 29(1):34-49

(Kôta SAKAGAMI 神戸大学農学部)

## 佐用町昆虫館に託されたヒラズゲンセイ

三木 進

北上を続けるヒラズゲンセイ *Cissites cephalotes* が、2014年以降、佐用町昆虫館(以下、昆虫館)に、3カ所から計4頭持ち込まれている。その内の3頭は赤穂市と佐用町産で、これらは倉敷市立自然史博物館などのデータから見ると、岡山県側から分布を広げてきたものと推察されるが、兵庫県南東部から西への拡大は、どこまで進んでいるのかなど、興味は尽きない。今後も昆虫館で情報を蓄積したい。

1♂ 赤穂市木生谷, 28. VI. 2014, 小島たかこ

1♂ 神戸市垂水区天ノ下9, くがの公園, 2015年6月下旬, 大西蒼生(垂水小2年)

2♂ 佐用町須安, 榎本家車庫 10. VII. 2015, 榎本雅己発見, 榎本美紗採集

佐用町の場所は、現場を調査された野村智範氏によると、岡山県との県境に近く、ヒラズゲンセイがはっていたのは木造の車庫で、物置や納屋にも使われており、普段からクマバチが巣をつくり、盛んに飛び回っているという。

持ち込まれた2頭の内、1頭は、野村氏の要請で紙製の標本ケースに入れて、榎本氏にお渡しした(写真)。



他の3頭は、寄贈者の希望により、2016年春から昆虫館に展示し、広く情報を集めるために役立てたい。

(Susumu MIKI 兵庫県明石市)